

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービスサンフラワー

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	0		
	2 職員の配置数は適切である	6	2	0		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	6	1		今後車いすの対象者が来た場合にはスロープ等の準備が必要になっている。現在対象者がいないため必要になった際には準備を行う。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	5	0		職員全体にPDCAサイクルに関する勉強会を実施。周知していく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5	1		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	契約時、モニタリング時などにアセスメントを行いニーズの把握に努めている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	1		年齢、特性に合わせたアセスメントツールを利用している場合もある。一部の職員だけでなく全員に周知していきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	0		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2	0		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	4	1	利用者が来るまでの時間帯に振り返り兼打ち合わせを行っている。	その場になかった職員にも伝わるように記録などの伝達資料を検討したい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	0		その日に全員で打ち合わせ振り返りは難しいが、その都度、遅くとも次の日に利用者が車で振り返り、対応策などを話し合い共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	0	職員間での話し合いを徹底していく。	支援に対する記録をこれからどうつなげていくのかを職員間で具体的に話し合う。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	0	保護者との面談、職員間での月2回のモニタリングを実施している。	モニタリングによって支援にどのように繋がっていくのかモニタリング時や勉強会にて伝達していく。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	3	0	ガイドラインに関する勉強会を行う	職員研修にて「ガイドライン」を学ぶ機会を持つ。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	0		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	4	0		現在、医療的ケア児の利用はない。が、必要になった際には、保護者・相談員と情報を共有し、整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	0	卒園してからの情報共有は行っていない。	卒園してからの情報の共有は行っていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4	0	相談員を通して情報の共有は行った。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	0	研修に参加したり、支援会議の際に助言を受けたりしている。	今後も研修案内があれば積極的に参加していく。対象の児童には連携もしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	3	現在、コロナ禍のためない。	現在のコロナウイルスの状況では難しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5	1	アートの活動で参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	2	0	毎日の連絡帳への記載や電話連絡、メール連絡を行っている。	保護者が知りたい時に聞くことができるように、連絡帳・電話・メールなどいくつかのツールを組み合わせる。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	0	保護者の対応、家庭での過ごし方等の助言も行っている。	職員間でペアレントトレーニングに関する勉強会を持ち、どのようなものかを知る必要がある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3	0	コロナウイルスの状況を見て、県内の感染者がいない時期に親子行事を開催した。	今後も様子をみながら出来そうなどときには開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	2	0	出来るだけ迅速に対応している。	苦情があった際には職員間で内容・対策等を共有していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	0	月に10数回ブログを更新している。行事予定カレンダーも配布している。	おたよりが滞っていたので再開する。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1	0	視覚的なツールや筆談、メール等に残すなど等行っている。	それぞれの特性に応じた配慮でその都度対応していきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	2	行事等は現在行っていない。	町会の意見は積極的に聴き対処している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	2		職員では行っているが保護者には知らせていないことがある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	0	研修会に参加した後、職員の勉強会にて情報共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2	0		計画書に記載しているかどうか対象児の情報を職員全体で共有する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	0	保護者から指示がある。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	職員会議等で共有している。	